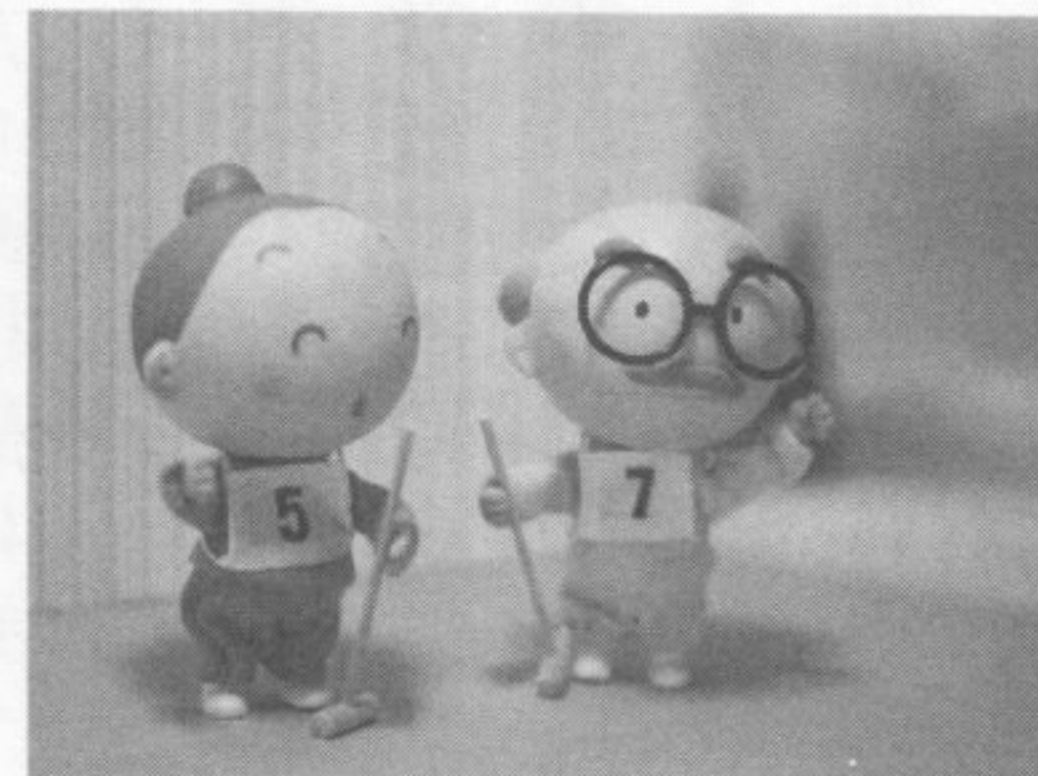
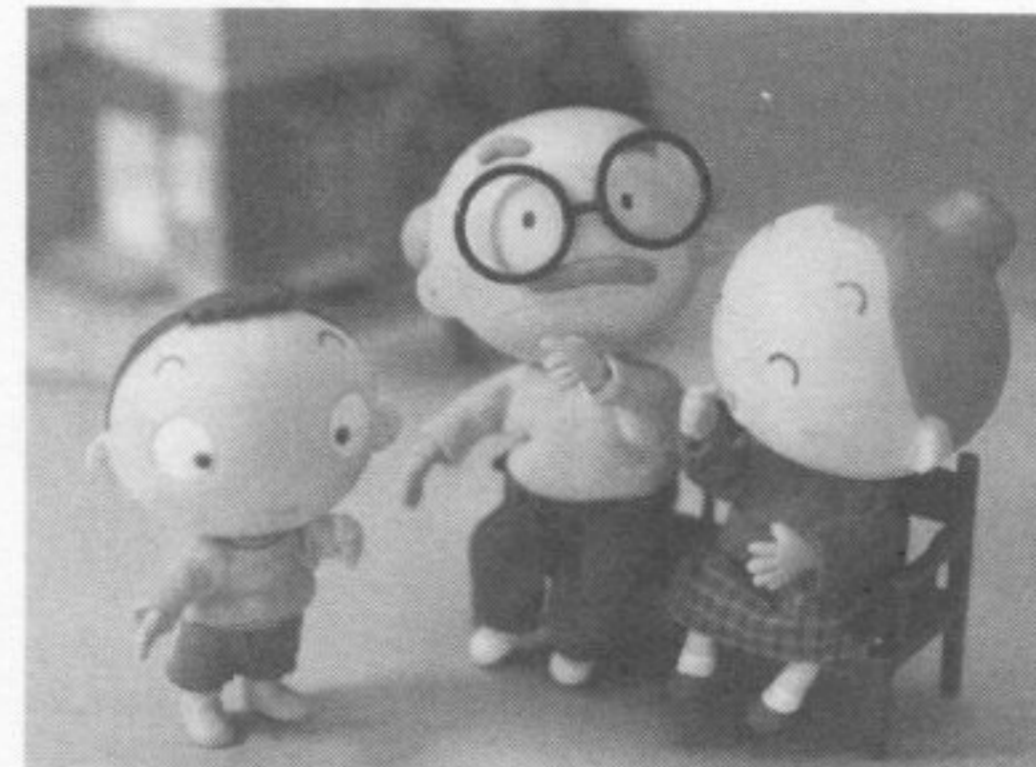


# 2012年電通共済生協等の加入強化の取り組み

今年も共済生協関係の加入強化の取り組みで「電通生協の交通災害(しぐる)・火災共済(すまいる)・自然災害共済(おまかせ)・生命共済(ささえ愛)」と労連共済本部から「退職者生命共済(あいあい)」の資料が、7月4～5日に各家庭に送付されます。多過ぎる資料の中から、下記の①、⑧の資料を取り出して下さい。

今回同封の資料 ① 共済チェックリスト(加入状況と支払金額及び保障内容)

- ② 電通共済生協からのご案内
- ③ 返信用封筒
- ④ 交通災害共済・火災共済・自然災害共済申込書
- ⑤ 生命共済申込書(既契約者、および65歳までの組合員へ)
- ⑥ 記入例
- ⑦ パンフレット
- ⑧ 契約のしおり：永久保存。(来年以降は変更点のみを周知しますので契約のしおりは大切に保管してください)
- ⑨ マイカー共済のチラシ(全労済沖縄を推進しているので参考までに送付)
- ⑩ あいあい契約案内書(あいあい加入者のみ送付)
- ⑪ 労連共済本部よりのお知らせ(退職者の会に加入している69歳以下の会員へ送付)
- ⑫ 医療共済のご案内(⑩と同じ)



以上の資料です。確認と契約内容の変更等の手続きは以下のとおりです。

①の共済チェックシートの確認で現在の加入状況・保障内容が分かります。

\*確認の上変更が無ければ今回の資料は何も送付する必要はありません。

加入している共済は自動継続になります。

**※変更無しは送付不要です。**

## \*契約内容の変更・新規加入がある場合は

⑦のパンフレットで契約できる範囲・内容を確認し、⑥の記入例を参考に④、⑤の申込書に記入して2枚目の本人控えは保管し1枚目のみを③の返信用封筒で送付してください。(申込記入日・告知等の必要事項は記入例を参考に必ず記入してください。)

⑩のあいあい契約案内書は 新規加入・増口は出来ませんので、減口か解約のみになり変更が無ければ送付の必要はありません。

(自動継続です。送付のご案内を同封していますので必ずお読みください。)

⑪⑫は医療保険のお知らせです。詳しくは記載のフリーダイヤルまでご連絡してください。

以上が今回の加入促進の流れです。

## ※変更申込書の送付締切は、7月27日です。

共済チェックシートの下方にお支払合計額とお支払い方法が記載されております。

個人々人支払日が変わりますのでご確認の上対応をお願いいたします。

### ◎共済掛金の支払い

#### \*口座引落とし設定者

1回目の引落としは11月20日～26日に行われます。

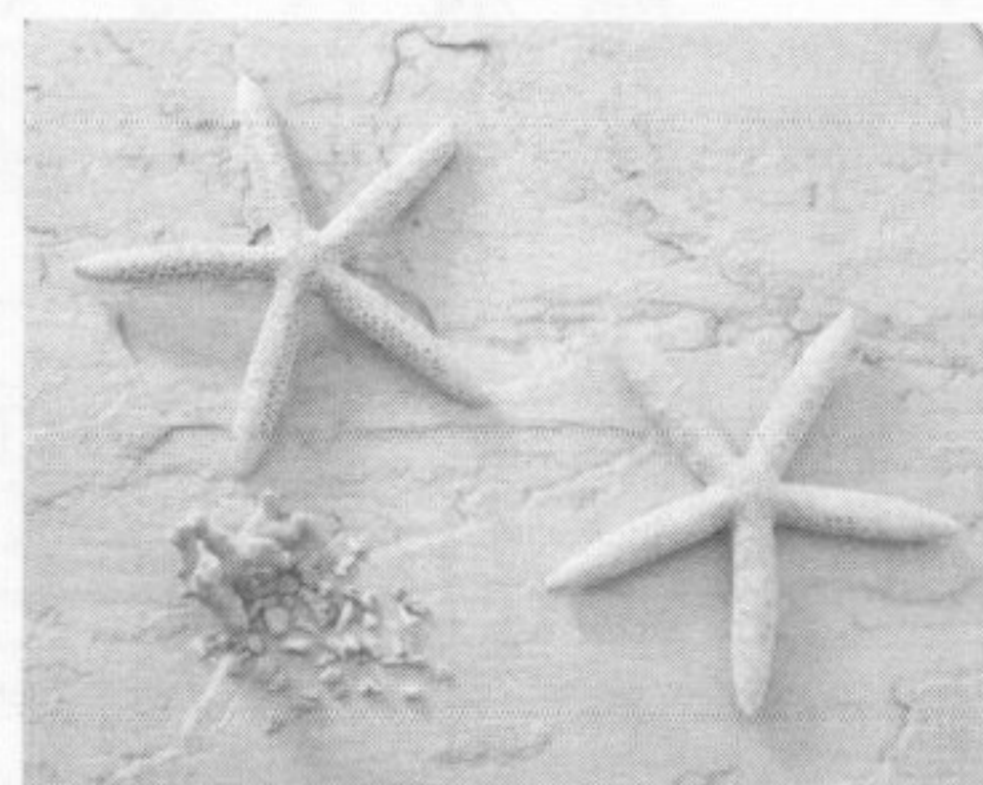
預金残高不足等で引落としが出来なかった場合は12月・1月と3回まで引落としに行きます。

共済掛け金の引落としが出来ない場合は**契約が失効になります**のでご注意ください。

#### \*口座引落とし未設定者

コンビニ払込票を11月上旬に自宅へ送付します。納付期限は11月19日です。

期限を過ぎた払込票は使用できませんのでご注意ください。



## 一口でも加入を!!

最後に、電通共済事業の組合員になるために「100円」の出資金を支払ったいわゆる「退職組合員」でありながら、電通共済生協の共済事業に(例えば交通災害や火災共済等に)全く加入していない退職組合員には、100円を返還して「共済事業組合員」からの脱会を「厚労省の指導」のため行わざるを得なくなりました。そのための脱会手続きを今後行います。

一旦「脱会手続き」を行うと共済生協への加入(共済生協の利用)が全くできなくなります。

よって、脱会手続きをせずに、「一口」でも良いから交通災害とか火災共済等に**今回加入することをお勧め**します。

# 支部協だより

第104号

発行所

NTT労組退職者の会

沖縄県支部協議会

沖縄県浦添市城間4-35-2

TEL.098-870-7101

FAX.098-875-7450

責任者

黒島善市

●川柳

東京都沖縄の基地も買ってくれ

一坪反戦地主

石原都知事殿



# NTT労組退職者の会、全国交流集会

八重山地協 大島 克博

五月九日から十一日にかけて、NTT労組退職者の会、全国交流集会が、全国から二一九名の仲間が集い熱海の後楽園ホテルで開催。沖縄から八重山地区の大島と西銘が参加しました。

第一日目は「NTT退職者の会の概要と当面する課題」とした基調報告があり、

その中でゆとり、豊かさ、社会的公正を求め、NTT労組と密接に連携し、現退一致の運動を進めることとする。又仲間同士の助け合いが基本とし、東日本震災での会員の安否の確認に全力を挙げたこと等が話されました。その後参院議員の組織内の、石橋みちひろさんの講演があり、政治の責任、国会議員の役割等の話がありました。



左から西銘栄弘 大島克博 吉川さおり参議員

二日目は、NTT労組の現状と当面する課題とし、本部の高橋副委員長の話があり、組織強化をどう取り組むか、役員配置は？、運動を支える財政をどうするか等があり、特に政治情勢を踏まえ、来年参院の任期を迎える吉川さおりの再選

## 北部地区協

### 私が体験した沖縄戦



平良森雄 (7才)

疎開より帰郷を選択する

私が物心ついた頃は、那覇市にある久茂地国民学校二年生として在学していた。父は大工の棟梁として弟子が四、五名いて、いつも私達家族と一緒に生活をしていました。私は高い竹馬を作ってもらい友達に自慢していました。父はまだ三十才前半であつた。

その頃から戦争の足音は確実に近づいていたのだらう。夜は灯火管制が敷かれ、電灯は黒い布でカバーしていた。戦争が来るので学童

を最優先に取り組みます。その後、実技を交えた健康講座、その後は二〇名ずつ分散会が持たれた。その時、異常気象だと言われていた様に大粒のアラレが降った。夜の交流会では私は手作りの笛を吹き、西銘君がリズム(段ボールで)をとり、同じ部屋の鹿児島から参加の諏訪明紘さんが踊り、会を盛り上げ、全国の仲間と交流をしてきました。

爆撃される輸送船

う寝たきりになってしまった。その頃、毎日のように空襲警報があり、私は祖父におぶさつて安全な場所へ避難していた。父が那覇から戻って来ている時は父がおぶってくれた。あの父の背中が温もりが今も忘れられない。幸いに私の体力は次第に回復へ向かっていた。一人で歩けるまでになっていた。

私の家は東支那海に面した海岸沿いにあり、ある日久々に日本の船が三隻那覇方面へ向かって航行していた。いきなり敵のグラマンが現れ二隻目の大きな船へ爆撃した。船は大きな火柱をあげながら風に流され私達が見ている浜辺近くの岸にひっかかり、大爆発音と共にたくさんの油の入ったドラム缶が陸上まで飛んで来た。その後、船は燃えつき沈没した。

アメリカ兵現る

ある日突然、避難小屋の近くにアメリカ兵が現れた。私は昼寝をしている弟(生後六ヶ月)を抱えて逃げた。それ以上は逃げ切れないと思ひ、その場にしゃがみ込みシダの葉一つで身をかくした。銃を構えたアメリカ兵が近づいて来た。アメリカ兵を見るのは初めてであつた。こわかつた。息を呑んだ。顔の表情が分かるくらいまで近づき、目と鼻の先に銃を構えたアメリカ兵がいる。弟と二人ここで殺されると思つた。生きた心地

祖父・父・母死す

戦争が終つたと知らされた。そんな矢先私の病気を治す為につくしてくれた母方の祖父が、夜闇にまぎれて自分の家を確かめに行き、自宅近くで日本兵と間違われて射殺されたという報せがあつた。何という運命であらう。戦中戦後の疲れからか間もなく母も病死し、父はとうとう帰つて来なかつた。残された私達子供六名は、実家の祖父母の懸命な努力と深い愛情に育まれ、苦しかつた戦中戦後を乗り越え、一人前の社会人として健康で、それぞれが子や孫達に囲まれて幸せな日々を送っていることを記して、私の戦争体験といたします。

「会員の訃報について」

謹んでご報告し、故人の冥福をお祈りします。  
島袋 男(二〇一二年六月九日)  
満61歳、浦添市在

